

河上彦齋 河上彦齋 熊本藩士。天保五年十一月二十五日肥後國生れ、明
 治四年十一月二日歿（二二歳一七）。舊姓小森、諱文明、通稱彦次郎、
 庄兵衛、高田源兵衛あみだ。元治元年京都へ佐久間象山を暗殺、
 へ入斬り彦齋の異名を得た。のち新政府の開國方針に憤慨、一反政府
 言論のため陰謀嫌疑を受け、判死。

文献、松山守善著『河上彦齋』（大正十五年九月五日河上彦齋建碑事
 務所）、澤田和一著『死にもあつた愉し』勤皇志士河上彦齋の生涯』（昭
 和十七年八月二十五日長谷川書房）、荒木精之著『河上彦齋とその歌
 集』（昭和二十六年十一月四日熊本・日本談義社）等。